手紙

慶応元年九月七日　坂本権平、乙女、おやべあて

坂本龍馬

青空文庫

九月六日朝、はからず京師寺町ニ川村盈進（えいしん）入道ニ行合、幸御一家の御よふす承り御機嫌宜奉大賀候。二ニ（つぎ）私共初（はじめ）、太郎無異儀憤発出勢罷在、御安慮奉願候。

一、目今時勢御聞入候。

当時さしつまりたる所ハ、此四月頃宇和島候より長州え送一封の事也。夫ハ此度将軍長征ノ故を、幕史より書付を以て送りタル写也。

其文ニ曰ク、此度進発在ルハ長州外夷と通じ、容易ならざる企有之候。尤和蘭（もつともオランダ）コンシユル横浜ニ於て申立也と。

又曰ク下の関ニ私ニ交易場を開キたり。

其外三条皆小事件也。

時ニ龍ハ下春江戸より京ニ上リ、夫より蒸気の便をえしより、九国ニ下リ諸国を遊ビ、下の関ニ至る頃、初五月十日前なりし。当時長州ニ人物なしと雖、桂小五郎ナル者アリ。故ニ之ニ書送リケレバ、早速ニ山口ノ砦を出来リ候。数件ノ談アリ。末ニ及ビ彼宇和島より来るの書の事ニ及ビ候。龍此地ニ止ル前後六十日計ナリ。其頃和蘭船中国海より玄海ニ出ルアリ。

時ニこれを止ム。長官ノ者上陸人数八名、其内英人一名アリ。桂小五郎及井藤春助ラ、大ニ憤リ、アル時ニ当レバ彼ノ宇和島より来ル所の書を以て曰ク、此時春外長二名及龍馬もアリ。無種の流言して幕府長との中をたがへ、目今将軍大兵を発し大坂ニ来ル、是和蘭の讒より起りし

事也。

何故ニ候やと申ヨリ初メ前後談数語別ニ書有、和蘭人も赤面し義セしナリ。

和蘭曰ク毛も長を讒セし事なし。是則小倉候ヨリ長州の讒申立しニよりし、則小倉より申立し書付ハ外国奉行より見セくれしより、手帳ニ記シアリし故、御見目かけ申べし。夫を幕史らが和蘭より申立し事と、事をあやしく仕立しなりと申しき。

長、井藤春曰ク、然レバ近日幕兵一戦ニ及バヽ、先初ニ此談ニ及ぶべし。

又小倉えも此国より無種流言其罪を責候べし。

其時ハ立合呉候べきかと尋候。

蘭うなづき承知致セし、夫ハさてをき上の事を一　書付を以て此頃小倉を責問セしニ、小倉言葉なく幕府ニ其長の書と小倉の家老の付紙とを以て、急ニ御詮儀被下度とて願出候。

此上の事許(ばかり)ハ先、幕か蘭か小倉か其罪をうけずしてハすまず。

○此頃幕府より長州家老又ハ末藩召出しの儀を下したり。然ニ長州ハ曽てより不出と云儀を定たり。幕ハ不出バ大兵西下と義を定メ、諸々触出したり。

其兵を出スの期根ハ九月廿七日也。

此頃、長ハ兵を練候事甚盛。四月頃より今ニ至ルまで、日　朝六時頃より四ツ時頃迄、国中の練兵変ル　なし。先三百人より四百人を一大隊とす。一大隊ごとニ惣官参謀あり、郷　村　朝大隊の練兵す。日本中ニハ外ニあるべからず。

其国ニ入レバ山川谷　皆　護胸壁計ニて、大てい大道路不残地雷火ニて、西洋火術ハ長州と申べく、小し森あれバ、野戦鉋台あり、同志を引て見物甚おもしろし。
私夫より此頃上京ニ有り、又摂ニ有、唯頓所ニ居申候。
御安心可被遣候。申上レバかぎりも無事ニて候間、後便ニのこし候
七月七日

稽首謹白。
龍馬

尊兄
大乙姉
於ヲやべどの

追白、乙大姉ニ申奉ル。かの南町のうバゝどふしているやら、時　きづかい申候。もはやかぜさむく相成候から、なにとぞわたのもの御つかハし、私しどふも百里外、心にまかせ不申、きづかいおり候。
此書御らんの後ハ安田順蔵大兄の本ニ御廻願入候。かしこ。

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※底本手紙の写真のキャプションに、（高知県立歴史民俗資料館蔵）とあります。
※丸括弧付きの語句は、底本編集時に付け加えられたものです。
※直筆の手紙の折り返しに合わせた改行は、省いて入力しました。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年7月24日作成
2011年6月17日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙

慶応元年九月七日　坂本権平、乙女、おやべあて

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坂本龍馬
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/